



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校 校長室だより

R3.1.22 No. 61



雪遊び 1年生

1月20日(水)、1年生が校庭で雪遊びをしました。みんなとても楽しそうに遊んでいました。



校外学習 3年生

1月21日(木)、3年生が、社会科の「工場の仕事」「古い道具とむかしの暮らし」の学習のまとめとして、福井市にある安田かまぼこ工場と福井県立歴史博物館に出かけました。「かまぼこ道場」では、ちくわ作り体験を行いました。また、福井県立歴史博物館では、「昭和のくらしコーナー」などをじっくり見て回り、今と昔の暮らしの違いに驚いていました。



郡特別支援合同学習会 なかひま

1月22日(金)、なかよし・ひまわり学級が、南条郡の他校の児童・生徒と、遠隔システムを利用して合同学習会を行いました。今回は聞き役に回り、クイズなどに答えました。



【図書室の掲示】



ブックマ環境部のみなさん、ありがとうございました。

全国学校給食週間 (1月24日～30日)

※本校では、すでに、南条学校給食週間として、12月7日(月)～11日(金)に行いました。

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割についてたくさんの人に知ってもらい、これからの学校給食について考えてもらうことを目的としています。

学校給食の始まりは明治22年(1889年)、山形県鶴岡町(現在は鶴岡市)にある小学校で、家庭が貧しくてお弁当を持って来ることができない子どもたちのために無料で食事を提供したことから言われています。(最初のメニューは、おにぎり、塩さけ、つけもの)



その後、全国で学校給食が実施されるようになりましたが、戦争による食糧不足で中止することが決まりました。戦後、栄養失調の子どもたちを救うために、外国からの援助で給食が再開されることになり、昭和21年(1946年)12月24日に新しい学校給食が始まったことから、この日を「学校給食感謝の日」としました。しかしながら、多くの地域で12月24日が冬休みに入ってしまうため、1か月遅らせた1月24日からの1週間を、「全国学校給食週間」とすることが決まり、この期間に様々な取組が行われています。

現在では、食べるのが困難だったころから大きく変わり、偏った栄養摂取をはじめ生活習慣病の増加など、子どもたちの健康状態が心配されることから、バランスの良い食事のお手本として、学校給食は「生きた教材」の役割を担っています。そのため、好き嫌いをせず、残さずしっかり食べてほしいと思います。

昭和22年(1947年)頃 昭和44年(1969年)頃 昭和52年(1977年)頃 平成15年(2003年)頃



脱脂粉乳、トマトシチュー



ミートスパゲティ、牛乳、フレンチサラダ、プリン



カレーライス、牛乳、塩もみ、バナナ、スープ



米粉パン、コーンスープ、鶏肉とがやう炒め、ツナとキャベツの冷菜、くだもの、牛乳

メニューもずいぶん変わってきています。小学生の時、鯨肉の竜田揚げや揚げパンが出るのがとても楽しみで、揚げパンを食べる時は、口の周りが粉だらけになってしまいました。金属製の食器や脱脂粉乳も懐かしいです。また、ソフト麺が初めて出た時には、感動しました。

～12月10日発行 (No.56)に掲載～

南条学校給食週間に給食委員会から出された『食べ物・給食クイズ』の答え

- Q2. 日本で初めて給食を行った都道府県はどこでしょう? ①山形県
- Q3. 日本で初めて出された給食は、塩さけ、おにぎりあと一つは何でしょう? ①つけもの
- Q5. 日本で初めて給食が出た年はいつでしょう? ③1889年
- Q6. ゆばは、赤、黄、緑のどの色の食べ物でしょう? ③赤 ※大豆からできています。
- Q13. 白菜の花はどんな色でしょう? ②黄色